

平成 20 年度は協会設立 10 周年を迎え年次総会(5 月開催)に加えて 10 周年記念新春交流会(1 月)を開催いたしました。合わせて 10 周年記念誌の発刊を行い、この 10 年間に当協会の活動に多大な貢献をしていただいた方々に感謝の念を表明させていただきました。

また昨年策定しましたミッション・ステートメントに基づく活動につとめました。活動の中心は、昨年度に引き続き健康食品の安全性確保に向けた健康食品業界団体検討会および国の検討会、さらには年度の後半に活動がはじまりました健康食品の安全性確保に関する第 3 者認証協議会設立準備委員会および健康食品産業振興検討委員会への積極的な参画、意見提出に努めると共に、組織強化および会員への情報提供の一環として会員がメリットを共有していただくために情報の提供を充実いたしました。NNFA ジャパンインフォメーションシリーズとして、行政情報充実に向けて時機を得た官庁ニュースや、IASDA ニュースフラッシュの英語版・日本語版の発信を引き続き実施いたしました。

また、健康食品の科学促進のための活動として国際カロテノイド学会への協賛・参加をすると共に、カロテノイド懇話会との協働活動につき検討を重ねてまいりました。当協会の最大の使命であります国際的協調化および規制緩和への取り組みとしては第 7 回日米モス協議に向けての議題内容検討に関して米国 CRN と当協会の日米モス協議タスクフォースチーム内での討議を充実させると共に、3 月末には米国商務省を訪問して在日米国大使館商務部米国商務部との協力体制を充実させました。さらにサプリメント新法提案・規制緩和に向けて国会の議員連盟や業界の各団体との協力体制も実施いたしました。

今年度の主な活動を以下に示します。

1. 専務理事と各常設委員会(広報、科学、法務、メンバーシップ)担当副理事長 4 名とからなる執行委員会およびより広範な意見をとりいれるために拡大執行委員会(執行委員に加えて、理事でもある各委員会の副委員長 4 名から構成)を開催して、懸案事項の討議、活動の促進などを迅速に対応できる体制で事業を行いました。  
また理事会への提案等を積極的に提出して情報提供、規制緩和の要求などを様々な場面で展開してまいりました。
2. 会員企業の社員教育の一貫となるようビジネスに関する基礎を学ぶ教育研修セミナーを 3 回行い、並行して、広く活動の宣伝および会員への最新情報の提供をするために公開セミナーを 5 回開催致しました。
3. 厚生労働省による健康食品の安全性確保に向けた活動に対して、健康食品業界団体検討会における全体会議および専門部会に積極的な意見提出等の協力をいたしました。  
同様に健康食品の安全性確保に関する第 3 者認証協議会設立準備委員会および健康食品産業振興検討委員会において積極的な意見提出も行いました。
4. IADSA 活動との関連では、IADSA ニュースフラッシュ日本語版の作成を始め、IADSA 総会および第 1 回 IADSA 科学会議、IADSA 執行委員会に参画してまいりました。またアセアン諸国間の健康食品・伝統的医薬品におけるハーモナイゼーション会議(年 1 回)および CODEX の当業界に関連が強い部会(栄養特殊用途食品部会:CCNFSDU)等において協力活動をいたしました。具体的な財政的支援の一環として、IADSA 年会費の増額および科学プロジェクト費への拠出をいたしました。
5. 広報委員会の活動として、前記 2)のセミナー開催に加えて、米国の健康食品業界団体である NPA および CRN との協働活動に関するプレス発表を行いました。1 月には、10 周年記念新春交流会を開催し、特別講演として獨協大学教授の森永卓氏を招聘し、御講演をいただくと共に、メディア関係者を交えたパネル討論の機会を設け、多くの参加者・招待者のご出席のもとで成功裡に終えることができました。

6. 科学委員会の通年活動として、独立行政法人 国立健康栄養研究所作成監修の「健康食品の差材に関する安全性・有効性データベース」への情報提供を継続して行っております。法制度に関する活動としては、法制度の実現に向けての国会議員連盟との協力活動をすすめてまいりました。
7. メンバーシップ委員会においては、広報委員会との協力のもとに新規会員の獲得および現会員へのサービス充実に向けて日常的な協力活動を実施し、会員数の増加および協会活動の活性化に貢献してきました。

## 1. 組織強化と会員増加

1. 専務理事と各常設委員の委員長からなる執行委員会を設置し、積極的な提案を理事会へすると共に、他団体、会員などからの要望、要請に迅速に対応できるようにしました。拡大執行委員会(前記)も設置して、より理事からの広範な意見を取り入れるようにしました。
2. 国内企業会員数増加を目指し、ホームページの充実、NNFA ジャパンインフォメーションおよび各種セミナー開催を通じてより多くの情報の提供を推進しました。
3. 国際的ハーモニゼーションの促進を目指して、IADSA との連携を深めると共に、米国の 2 業界団体である CRN US および NPA との協働活動、米国大使館商務部および米国商務省との連携を深めました。
4. 入会会員数:14、退会会員数:7、全会員数:95(平成 21 年 3 月末日現在)

## 2. 会員への情報提供および機会の提供

1. 広報委員会による各種セミナー開催:会員企業向けに各種セミナーを 8 回開催しました。  
本年度は 10 周年記念新春交流会時の講演会を目玉に、全 3 回シリーズで開催した会員企業向け教育研修セミナーおよびビジネスの話題を意識した公開セミナーを中心に活動を行いました。
2. 科学委員会: 6 月に国際カロテノイド学会への協賛を行い広く当協会の認知向上に努めました。また下記の配信物を情報として提供いたしました。  
NNFA ジャパンインフォメーション:207 件  
(IADSA News Flash<英語版、日本語版>、その他 IADSA 情報、NPA NOW、行政関連情報、セミナー等イベント情報等)  
国際生命科学研究機構/女子栄養大共同印刷物である「栄養学レビュー」<季刊定期雑誌>の紹介  
日本ビタミン学会トピックスの別刷配布
3. ホームページの充実  
ホームページを通じてセミナー等の案内につき、時機を得た、より魅力的な内容充実を積極的に行いました。会員管理システムの充実化を図りました。

## 3. 規制緩和推進

在日米国大使館、ACCJ(在日アメリカ商工会議所)および米国商務省と連携して、厚生労働省その他関係省庁に、業界の発展につながる規制緩和・撤廃を求める以下のような活動を行ないました。また 2008 年 9 月~2009 年 5 月の日米モス協議課題についての協力体制を実行しました。

## 4. 消費者教育・啓発活動

消費者教育の一環として、サプリメントのアドバイザースタッフ対象の公開セミナーを 3 回開催しました。

## 5. 広報活動

1. 5月:NPA および CRN US との協働活動提携メディア発表を行いました。
2. 1月:10周年記念新春交流会を開催しました。
3. 12月:独立行政法人 国立健康栄養研究所および NPO 国際生命科学研究機構との日米機能性食品に関するシンポジウムを共同で開催しました。

## 6. 関連団体との連携強化

1. IADSA の日本幹事団体として、定例電話会議、総会に参加。国際情報の収集・交換、国際活動への参加・協力を行い最新情報を e-mail にて会員に配信しました。
2. 業界発展のために、6 団体との定例月例会議出席等国内業界団体との協力関係維持に努めました。
3. 健康食品産業振興検討委員会へ参画しました。
4. 健康食品の第 3 者認証協議会設立準備委員会へ参画しました。
5. 議員連合への積極的な支援活動を行いました。